

## 表面処理

ARC S5の性能を長期的に保つには正しい表面処理を行うことが重要です。適切な条件は使用状態の厳しさ、期待される寿命、初期の下地状態により異なります。

最適な前処理は、汚れが全て除去され金属表面が75から125ミクロン(3-5 mil)に粗面仕上げされた状態です。通常、**ホワイト・メタル (Sa 3/SP5)**あるいは**ニア・ホワイト・メタル (Sa 2.5/SP10)**の清浄度まで初期洗浄と脱脂、研磨プラストを行った後、残留物を除去します。

## 混合

混合と塗布を容易にするために、製品温度を20°から35°C (68° – 95°F) に保ってください。各キットには、正しい混合率に従い、事前に計量された2つの成分が入っています。更に小分けする場合は、正しい混合比率に従ってください。

混合率	重量比	容積比
A : B	16.8 : 1	8.8 : 1

B剤をA剤に加えよく混ぜます。完全に混ざるまで混合を続けてください。

## 塗布

### 溶剤の有無による塗布面積

厚さ	ユニットサイズ	塗布面積
750ミクロン (30 mil)	5リットル	6.67 m <sup>2</sup> (71.76 ft <sup>2</sup> )
	16リットル	21.33 m <sup>2</sup> (229.63 ft <sup>2</sup> )

## スプレーによる塗布

スプレーで塗布する場合は、容量比9から13%のメチルエチルケトン (MEK) を以下の量で追加してください。

5リットルキット – 14 fl.oz – 22 fl.oz (0.43リットルから0.65リットル)

16リットルキット – 47 fl.oz – 70 fl.oz (1.39リットルから2.08リットル)

溶剤とともにスプレーで塗布する場合は、推奨される膜厚30 mils (750ミクロン) を達成するために2コートが必要になります。装置の基準などについてはARC技術告示#6:スプレー機器ガイドラインを参照してください。以下のオーバーコートガイドラインを参照してください。

ARC S5塗布時に推奨される周囲温度は 50°Fから 95°F (10°Cから35°C) です。

### MEK使用時の硬化時間(スプレーによる塗布)

	10°C (50°F)	16°C (60°F)	25°C (77°F)	32°C (90°F)	注: 強制硬化させると全性能特性に速く到達します。強制硬化は、半硬化に達した後70°C (158°F) で6時間加熱します。ARC S5は、動流動あるいは磨耗状態(湿潤時または乾燥時) で使用する前に、95°C (203°F) で12時間アフターキュアを行う必要があります。
半硬化	10時間	8時間	6時間	4時間	
オーバーコート開始	6時間	4時間	3時間	2時間	
オーバーコート終了	10時間	8時間	7時間	5時間	
使用可能	6日	5日	4日	3日	

## 手動塗布

ARC S5 はブラシあるいはナップローラーを使って手で塗布することができます。ARC S5 の推薦される最小乾燥膜厚は30 mils (750ミクロン) で、溶剤なしで1コートで達成することができます。2コート塗布することが望ましいアプリケーションでは、オーバーコート前に ARC S5 をブラシプラスト(あるいは類似した手法) する必要があります。トップコートを塗布する前に、硬化時間表を見て、ベースコートの準備に必要な時間を選択してください。

### 作業時間 – 単位:分

	10°C (50°F)	16°C (60°F)	25°C (77°F)	32°C (90°F)	このチャートは、混合開始後のARC S5の実際の作業時間を示しています。
5リットル	140 分	120 分	90 分	60 分	
16リットル	120 分	100 分	70 分	45 分	

## 硬化時間

	10°C (50°F)	16°C (60°F)	25°C (77°F)	32°C (90°F)	
半硬化	10時間	8時間	6時間	4時間	注： 強制硬化させると全性能特性に速く到達します。 強制硬化は、半硬化に達した後70°C (158°F) で 6時間加熱します。ARC S5は、動流動あるいは磨 耗状態(湿潤時または乾燥時) で使用する前に、 95°C (203°F) で12時間アフターキュアを行う必要 があります。
2コート目用 ブラシブラストの開始	48時間	36時間	24時間	20時間	
使用可能	5日	4日	3日	2日	

## 洗浄

市販の溶剤(アセトン、キシレン、アルコール、メチルエチルケトン)で使用後の工具を直ちに洗浄してください。一旦硬化すると削り取らなければなりません。

## 安全性

使用前に必ず適切な安全データシート(SDS)あるいは貴地の安全シートを参照してください。標準の作業時間や作業開始に関する手順があれば、それに従ってください。

貯蔵期間(未開封容器):3年 [乾燥した、湿気のない屋内施設で10°C (50°F) から 32°C (90°F) で貯蔵した場合]